

放送ライブラリー公開番組＜安野光雄さん出演のテレビ・ラジオ番組＞

＜テレビ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局／分数／OA日	ジャンル	内容
001711	国宝への旅 戯れのユートピア 高山寺・鳥獣人物戯画	NHK東京 29分 1987/7/16	教育・教養	画家・安野光雅さんが「鳥獣人物戯画」が伝えられてきた京都の高山寺を訪ねて、その独創的なおもしろさ、風刺性を語る。◆サル・ウサギ・カエルなどが遊び戯れる姿を擬人化し、力強い線で描いた鳥獣戯画・甲巻は12世紀半ばに鳥羽僧正覚猷(1053～1140)によって描かれたとつたえられる。その技法や自由奔放な精神を受けついで、乙・丙・丁の3点が描かれた。「戯画の中の動物を仮に子供の姿と考えると、私たちにとってはもはや戻れない子供の世界、失われたものへのあこがれの世界が描かれているのではないか」と安野さんは思う。
003936	NHK特集 安野光雅・ファール昆虫記の旅〔1〕 幻のフンコロガシ	NHK東京 46分 1988/9/12	教育・教養	「昆虫記」で名高いファールゆかりの地を、画家・安野光雅氏が訪れ、その水彩画にビデオによる風景や昆虫の姿を重ね合わせて構成するシリーズ。(1988年9月26日終了、全2回)◆前編では、苦学していたファールの前半生と、昆虫記の冒頭に登場するフンコロガシの珍しい生態を紹介する。フンコロガシはその名の通り、動物のフンを玉にして転がし、自分のエサとしたり卵を産みつけて幼虫のエサにしたりする昆虫。日本にはおらず、ファールの国フランスにも5種類ほど住むだけだが、農業や牧畜のあり方の変化から減ってきている。
003937	NHK特集 安野光雅・ファール昆虫記の旅〔2〕 南仏・狩人バチの謎	NHK東京 46分 1988/9/26	教育・教養	後編では、ファールが死ぬまで研究と執筆を続けた南仏セリニャンの地と、後半生に研究した狩人バチの世界を描く。1879年、この地に家を求めたときファールは56歳。実験や研究の場を得るという夢が叶った。65歳で23歳の娘と再婚、3人の子が生まれ計8人の子の父となるが出版した昆虫記の売れ行きも芳しくなく、生活は楽ではなかった。
010256	私の交遊抄 森毅、安野光雅	テレビ東京 25分 1992/10/30	トーク・ワイドショー	各界の著名人の“交遊録”を軸に、出会い、別れ、愛憎など、人と人との深い結びつきを描きだす。(1992年4月3日～93年3月26日)◆今回は、数学者の森毅と絵本作家の安野光雅。
011016	やきもの探訪 古代ペルシャの色をいまに 加藤卓男 ～岐阜・多治見市～	NHK衛星第2 30分 1996/5/26	教育・教養	9世紀のペルシャに現れ14世紀に消えた、金の輝きをもつ絵、陶器ラスタ。その再現に15年をかけ更に20年、日本の美を重ねようと試みる加藤卓男を、画家安野光雅が岐阜県多治見市を訪ねる。◆加藤さんは正倉院の復元も手がけ人間国宝になった。日本では歪んだ形に禅の美を見出す。ただし、わざと歪ませてはいけぬ。◆煤を混ぜた顔料を素焼きに流す。登り窯に1点だけ入れて薪をくべ、うんと煙を出して3、4日。焼き上がりをこすると、金の光沢が出現した。
＜ラジオ番組＞				
R02499	日曜喫茶室 テレビは変わるのか？	NHK東京 108分 2004/1/4	トーク・ワイドショー	日曜日の昼下がりに珈琲を飲みながら音楽とおしゃべりを楽しむ、という番組。マスター・はかま満緒、ウェイトレス・小泉裕美子、常連客・安野光雅。(1977年4月3日放送開始)◆様々なメディアがアナログからデジタルの時代になり、テレビの領域は地上波デジタル・ハイビジョン・モバイル・多チャンネルなど多様化した。ゲストに放送開始期からのテレビを知る吉田直哉、永六輔の両氏を迎え、今後のテレビのあり方について番組の作り手側・視聴者側、両者の観点から語り合う。